

備前市事務事業評価シート

(平成22年度事業)

事業の概要			
事業開始年度	平成14年度～		根拠法令・例規等
総合計画	大項目	01 安全で快適に暮らせるまちづくり	問担当課(室) 都市整備課 合職・氏名 管理係長・坂本基道 先 電話 0869-64-1833 このシート作成に要した時間 2.0 時間
	中項目	03 自然と共生まちづくり	
	小項目	01 河川改修・砂防施設整備	
事務事業名	04	急傾斜地崩壊対策事業	

事業の目的	
対象(誰・何に対して)	急傾斜地崩壊危険区域の住民
目的(何のために)	住民の生命、財産をまもる
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	急傾斜地崩壊危険区域の整備

事業の実績			
目的を達成するため実施した事業	細事業名	事業の説明	優先度
	急傾斜地崩壊対策事業県工事負担金	県工事負担金	
	急傾斜地崩壊対策要望事務	県工事要望	

事業費等		単位	平成20年度実績	平成21年度実績	平成22年度実績
事業費	直接事業費	千円	0	0	0
	必要人員人件費	千円	0.03人	0.10人	0.03人
	事業費計		263	93	319
決算額	国県支出金	千円			
	受益者負担				
	繰入金				
	その他(一般財源)		263	93	319
受益者負担比率	%				

結果指標		単位	平成20年度実績	平成21年度実績	平成22年度実績
急傾斜区域決定・整備箇所	説明	急傾斜区域決定・整備箇所	0	0	0
結果指標量			0	0	0
対前年比	%		-	-	-
活動コスト	円		262,000	93,000	319,000
単位当たりコスト			#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!

事業の成果					
成果指標名	年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度目標値
整備率	目標値(A)	0	0	0	0
	実績値(B)	0	0	0	到達目標値
	達成率(B/A)	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
成果指標設定の考え方・式や説明					
整備完了箇所(B) / 危険指定箇所(A)					

事務事業の評価		5段階評価(A~E)のランク基準 A:高い B:やや高い C:普通 D:やや低い E:低い	Check
妥当性の評価	市の関与の必要性	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input checked="" type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い	妥当性評価 <A-E> <b>C</b>
	市民ニーズ	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託含)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input checked="" type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価 <A-E> <b>C</b>
有効性の評価	目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない	有効性評価 <A-E> <b>C</b>
	市民参画度	<input type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している	

進行年度(H23年度)の改革改善内容							
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
説明	地域からの要望や被害があればその都度県へ要望をしていく。						

総合評価		5段階評価(A~E)のランク基準 A:高い B:やや高い C:普通 D:やや低い E:低い
危険区域指定地のほとんどが整備されているが、近年の異常気象により局地的な災害が発生しており、未指定地については区域指定を受けて整備していく必要がある	評価区分 <A-E>	<b>C</b>
	妥当性 C 有効性 D 効率性	

平成24年度の方向性・取組目標							
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
取組目標	採択基準も難しくなっているが次年度以降も引続き行う必要がある。						

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業の目的やその数値目標がある成果指標に留意しな